

♠ わたしの日常

認知症と診断されると一人では暮らせないと考えていませんか

- 認知症になることは特別なことではありません。
 - 何もかもわからなくなる、常に助けが必要になるわけではありません。
 - 今ある力を失わないためにできることを一緒に考えてみてください。
 - 地域で活動するときは、当事者の意見やアイデアにぜひ耳を傾けて下さい。
- 認知症のある方の考えや気持ちを知るため、左記QRコードで参照できます。
- 私たちの仲間—認知症の人からのメッセージ動画「希望の星」(厚生労働省)



♠ 共に生きる家族へのメッセージ

わたしたちは最も身近な存在である家族の支えに感謝の気持ちを持っています。

- ・できることはできるだけ自分でしたい。
- ・心配をかけていると思うけれど、できる限り、自分の事は自分でできるよう手伝ってほしい。
- ・時に失敗することがあるかもしれないけれど、失敗からまた新しい工夫が生まれて、自分のしたいことにつながるかもしれない。その工夫と一緒に考えて欲しい。
- ・診断されても自分は自分。変わらないことを理解して欲しい。
- ・自分が地域の人たちの助けを借りながら元気であることで、家族を楽しみたい。
- ・本人が自分らしく暮らすことが大切ではなく、家族も自分らしく暮らして欲しい。

ロバ隊長は、「認知症サポーターキャラバン」のマスコットです。

認知症になっても安心して暮らせる街づくりへの道のりの先頭を歩き一步一步着実にキャラバンを進める役割を意味します。



～安心して利用できる店舗～
ロバ隊長のシールは、始良市内で認知症サポーター養成講座を受け、認知症に配慮されている店舗に配布しています。

♠ 認知症について学びたい・語りたい

お問い合わせは、始良市地域包括支援センター 0995-64-5537

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは認知症に対する正しい知識と理解を持ち、認知症のある方やその家族にやさしい始良市を目指し、見守りや声掛けなど、できる範囲で手助けするサポーターを養成します。

認知症カフェ（オレンジカフェ）

認知症カフェは、認知症のある方やその家族、地域のボランティア、介護に関心のある方等が定期的に集まり仲間づくりや情報交換を行う、当事者と家族の語らいの場です。関心のある方はどなたでも参加できます。
参加希望の方は、包括支援センターまで、ご連絡ください。



「柿色」をしたオレンジリングは、「手助けします」という意味を持ちます。

始良市 認知症ケアパス概要版

物忘れが気になりはじめた方・認知症の方を支援するご家族へ



始良市 認知症ケアパスは、認知症の診断を受けた方や介護する家族が知っておきたい基礎的な知識のほかに、認知症に関する相談窓口や受けられるサービスについて紹介しています。

こんなことに心当たりがありませんか？

- しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 同じことを何度も言う・問う・する
- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 些細なことで怒りっぽくなった
- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった



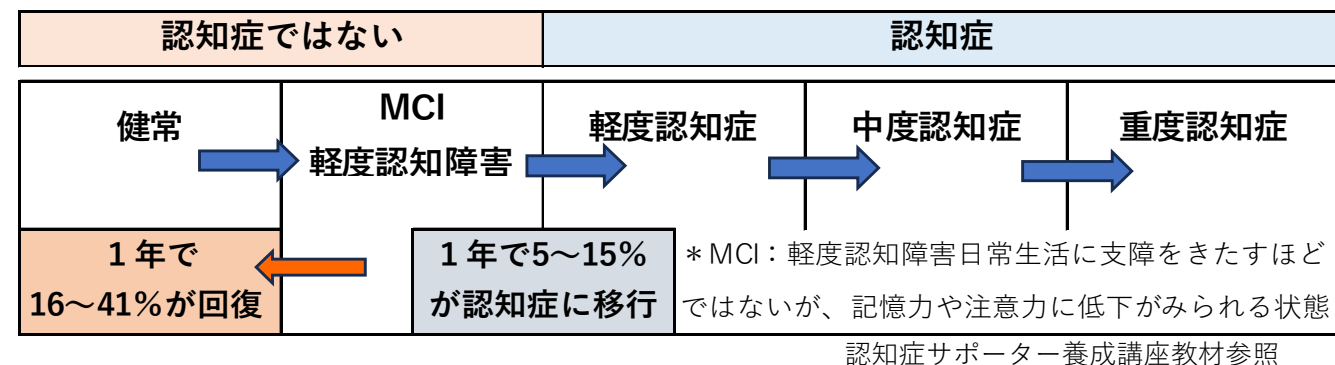
認知症の始まりではないかと思われる言動をまとめたものです。いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談しましょう。

公益社団法人
認知症の人と家族の会

認知症は… 誰でもかかる可能性のある身近な病気です。

認知症とは、病気などが原因で脳の細胞が壊れたり、働きが悪くなることで、認知機能が低下し、さまざまな生活のしづらさが現れる状態をいいます。認知症の進行や症状は、原因となる疾病や心身の状態、環境も影響し、個人差が大きく様々です。

● 認知症の経過



認知症は… 早期発見・早期治療が大切です。

